



内 容

学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4 オリエンテーション ○家族・家庭と子どもの成長 ・わたしの成長 ・家庭のはたらき ・家庭生活を支える仕事	◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを 知る。 ・3年間の学習の見通しをもち、積極的に取り組むことを 目指す。 ・小学校での学習を振り返り、確認する。 ・13年間を振り返り、自分史を作成する。
	5 ○衣生活・住生活と自立 ・日常着の活用 ・日常着の手入れ 6 ・衣服の補修	・自分らしく目的に合わせた着方を考える。 ・場に応じた服装の選び方を学習する。 ・衣服の表示について学習する。  ・繊維について学習する。 ・日常着の手入れ方法を知る。 ・衣服の補修方法を学習し、その技術を活用して、簡単な 身近な作品を制作する。 ・洗剤のはたらきを知り、しみぬきを実習する。
	7 ○快適に住まう ・すまいのはたらき ・共に住まう ・安全な住まい	・住まいのはたらきを知る。 ・夏の大掃除（計画・話し合い・実践・報告） ・部屋の使い方を考える。  ・住まいの安全対策を考え、住まい方を工夫できる。 ・災害への備えを考える。 ・住まいと音について理解する。
2 学 期	9 ○生活を豊かにする物を作る ○家庭生活と消費	・ウォールポケットの製作  ・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・よりよい消費生活のために
	10 ○環境に配慮した生活 ○食生活と自立 ・調理の基本	・簡単な調理を通して、毎日の食生活について考えられる ようにする。  ・包丁テスト  ・＜朝食＞ ミネストローネ  ・＜昼食＞ おむすび  ・＜夕食＞ しょうが焼き

評 価

家庭分野 <評価の観点>

- 生活や技術への関心・意欲・態度  
・授業の取り組みを良くする。(聞く姿勢、話す姿勢、調べる姿勢、作業  
集中して取り組む姿勢。)  
・制作に必要な用具、物を準備して、作業に進んで参加する。
- 生活を創意工夫する能力  
・作品制作において自分なりに創意工夫して表現する。  
・整理整頓に心がけ、作業のしやすい状態に整える。  
・生活環境への適切な気配りができるようにする。
- 生活の技能  
・衣食住など家庭生活に関する生活をよりよくしようとする改善、努力する態度がある。  
・調理用具を利用し、料理や味付けができる。  
・裁縫道具、ミシンなど縫製に関する用具の便利さと安全性に気をつけて使うことができる。
- 生活や技能についての知識・理解  
・授業中の記録がわかりやすくまとめることができる。  
・自分の作品について、自己評価を行い、今後の学習の参考に生かすことができる。



<評価の方法>

・毎時間の授業への取組（発表や活動内容・聞く・話す・調べる、実践する）、作品の工夫・努力・仕  
上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、整理整頓、用具機械の安全な使用など  
の自己評価、他己評価、定期テストなどを基にして総合的に評価する。

授業中

- 授業の準備をする。  
(道具や材料の忘れ物  
をしないなど授業の約  
束を守る)
- 目的と意欲をもっ  
て授業に臨む。学ぶべ  
きところを学ぶ、高め  
磨く。
- 創意工夫して作品  
を制作する。

復習

取り組んだ作品、制作物  
が期限内に完成できるよ  
うに、「何を」「どうした  
らよいのか」など、自己  
評価しながら取り組む。  
(遅れてる場合、自分で  
できることを行う。)  
\*自分以外の作品から学  
び、次の学習に生かす。



※ 安全で、気持ちのよい授業ができ  
るように、授業の約束は守る。